

参議院選挙が終わりました。誠に悔やまれる事に、大分県選挙区において、わが党は僅差の惜敗を喫しました。ご協力いただいた皆様にはお詫びの言葉もありません。また、候補者にも大変申し訳なく思っております。そして私も大変反省しております。とはいえ安倍政権としては結果は出ました。国政の新しい構図が出来上がりました。アベノミクスは信任を得ました。しかし同時に期限も確実に切られたと思います。残り2年半の間に、今度こそアベノミクスを道半ばではなく、成功させなければなりません。それが出なければ、厳しい審判を下されるのは必至です。

中国の減速と、EUの動揺と、I Sのテロは、世界経済へのトリプルパンチです。平和の下でしか経済発展はありません。世界経済は萎縮し始めようとしています。このような中で、日本の経済成長を成し遂げることは大変困難であることは確かですが、やらねばなりません。

I Sは宗教を暴力正当化の為に悪用し、宗教原理主義者と思えぬ悪虐の限りを尽くしています。善良なイスラム教徒は大変な被害者です。かつてのオウム真理教が仏教を悪用したのと同じです。テロリストにとって、あらゆる影

響力の強い思想が自己正当化の道具になります。彼らの情念の原点は世の中への強い不満と欲求と破壊衝動です。今の世界の秩序の中では彼らの欲求が絶望的に抑圧されており、もはや現状を破壊しなければならぬと確信している人達が中心となり、それに共感する人々が世界中から参加しています。

彼らの情念は世界的な貧富の格差の拡大に起因していると思えます。そして格差の原因は資本主義そのものにあり、その勝者である富裕層や巨大企業群が、国際連帯が未熟である間隙を縫い、法の網の目を潜って、租税回避など、適法かつ非道義的に蓄財を続け、国際社会への義務から逃れ続け、格差はどんどん拡大しています。もはや世界中を逃げ回る富裕層や巨大企業に対抗するには、一国では不可能です。例えそれが世界最強国家アメリカ合衆国であってもです。それこそ世界中の国々が協力し合わなければなりません。日本国内のみの富裕層や大企業をイジメても外国に逃げられて日本が苦しむだけです。

しかし、国際連帯とは言っても簡単ではありません。国際連盟時代から、世界は100年以上も国際連帯を模索してきましたが、

国際連合はあれどもこれは元々「ユナイテッド・ネイションズ」即ち「連合国」であり、第二次大戦の軍事同盟の延長ですし、国際連盟の様な役割に変容しつつあるものの、安保理常任理事国の利害が常に衝突しており、充分に機能していません。その他様々な枠組みで世界的な問題に対応しています。が、はばかしい成果は上がっていません。特にロシア・中国陣営と欧米諸国の価値観の相違は大きく、その対立は世界の不安定性の大きな原因です。

と見え、パナマ文書の流出で租税回避は世界の大問題となり、巨大グローバル企業の租税回避目的とみなすべく合併による国籍移転など、適法非道義な行ないの横行にはアメリカ合衆国も激怒しているようですから、国際的な租税管理の新しい仕組みを構築する必要も機運も高まってきました。今がチャンスだと思えます。

そろそろ国際金融資本が人を支配する世界から、資本が人に奉仕する時代に大きく舵を切るべき時が来たのではないかと思えます。その為には、金融の透明度を高め、目先の利益や無目的な資本の増殖の為に、人類文明の生成化育の為に血液として、世界をあまねく巡るように、国際金融と租税管理と再分配のシス

テムを構築しなければならないと思います。そうして世界の格差是正を実際に進めていかなければ、国内政治も国家間関係も更にギスギスし、国際テロリズムの拡大も止められないと思います。人間はお金と異性に窮乏すると人間性を損なうて犯罪にも走りま

す。抑圧への絶望と飢餓はテロリズムを生みます。国家の、存亡への危機感や貪欲な劣等感、戦争を生み出します。人間を狂わせる欠乏を作ってはならないし、今ある欠乏は解消してゆかねばなりません。それが平和をつくる努力だと思し、その為にコストを払わなければならないというのを、資本主義の勝者達に悟らせ、合意させ、払わせなければならぬと思います。勝者による抑圧と支配のみでは、長期的に安定した社会を作ること出来ません。勝者は社会の守護者・擁護者としての義務を負わなければならぬと思います。世界に望ましい社会構造を生み出すことを願って、これからも頑張ります。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebook アドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

